

1 教室創設 50 周年にあたって

1999 年度教室代表 富田 和暁

大阪市立大学地理学教室は本年（1999 年）、創設 50 周年を迎えた。この大きな節目の年にあたって地理学教室では 2 つの記念行事を行うこととした。ひとつは本年 11 月 27 日に行う記念講演会と記念祝賀会である。いまひとつは本誌、すなわち 50 周年記念誌の刊行である。

地理学教室の創設 30 周年と 40 周年を迎えたときにも、本誌と同様の冊子が作成されたが、50 周年を記念した本誌では教室の旧教員と卒業生に在任中あるいは在学中の思い出などを寄稿していただいた。寄稿していただいた方々に御礼申し上げます。

私は市大の地理学教室の教員となってまだ 4 年目であり、50 年の地理学教室の歴史を語ることはできないので、最近の教室にかかわる状況・できごとを以下に述べる。

1995 年に文学部の増築棟が完成し、地理学教室はその 2 階と 3 階に移転して現在に至っている。現在の地理学教室の教官研究室、製図室、資料室などはエアコン完備で快適にすごせる。また、多くのパーソナルコンピューターなど情報機器も整備されており、研究・教育の環境は整ってきている。

中村泰三教授が定年退官された 1996 年春に、大阪市大地理学教室編の『アジアと大阪』を古今書院より出版した。この単行本は、地理学教室の卒業生と旧教員も含めた教室教員あわせて 16 名の論文集である。

1997 年秋には人文地理学会の年次学術大会を、竣工して間もない大阪市大の学術情報総合センターを会場にして開催し、全国の地理学者や大学院生に市大を見ていただいた。

1998 年度に、文学部は哲学歴史学科、人間行動学科、言語文化学科の 3 学科に再編され、地理学履修コースは人間行動学科（社会学・心理学・教育学・地理学の 4 コース）の 1 コースとなった。

20 世紀も終りに近づいた本年、大阪市大地理学教室は新たな 50 年への第 1 歩を踏み出した。これまでの 50 年の間に形成された基礎と構造の上にたつて、強固で特徴ある市大地理学教室の構築への歩みが始まったのである。